

平成19年横浜港の港勢

入港船舶

		単位	19 年 前年比 構成比			18 年 前年比 構成比		
総 数	隻 数	隻	43,157	101.3	100.0	42,622	98.2	100.0
	総トン数	総トン	267,099,389	105.3	100.0	253,562,433	105.9	100.0
外 航 船	隻 数	隻	11,264	97.9	26.1	11,506	101.6	27.0
	総トン数	総トン	225,350,108	105.3	84.4	214,062,413	107.0	84.4
うち フルコンテナ船	隻 数	隻	5,574	97.7	49.5	5,704	101.6	49.6
	総トン数	総トン	128,882,307	105.6	57.2	122,066,374	109.3	57.0
内 航 船	隻 数	隻	31,893	102.5	73.9	31,116	97.0	73.0
	総トン数	総トン	41,749,281	105.7	15.6	39,500,020	100.0	15.6

(注) フルコンテナ船は外航船の内数。

海上出入貨物

		単位	19 年 前年比 構成比			18 年 前年比 構成比		
総 数	貨物量	トン	141,757,342	102.6	100.0	138,194,001	103.7	100.0
	コンテナ個数	TEU	3,428,112	107.1	100.0	3,199,882	111.4	100.0
外 貿	計	トン	90,736,695	103.9	64.0	87,339,572	108.9	63.2
	輸 出	トン	46,303,743	109.3	32.7	42,379,156	111.7	30.7
	輸 入	トン	44,432,952	98.8	31.3	44,960,416	106.4	32.5
うち コンテナ貨物	計	トン	50,920,432	107.5	56.1	47,363,855	111.8	54.2
	輸 出	トン	25,776,179	110.4	55.7	23,351,817	115.1	55.1
	輸 入	トン	25,144,253	104.7	56.6	24,012,038	108.7	53.4
コンテナ個数	計	TEU	3,182,089	106.8	92.8	2,979,681	109.3	93.1
	輸 出	TEU	1,653,228	106.7	48.2	1,549,946	109.2	48.4
	輸 入	TEU	1,528,861	106.9	44.6	1,429,736	109.3	44.7
内 貿	計	トン	51,020,647	100.3	36.0	50,854,429	95.8	36.8
	移 出	トン	21,063,593	99.4	14.9	21,181,171	96.4	15.3
	移 入	トン	29,957,054	101.0	21.1	29,673,258	95.3	21.5
うち コンテナ貨物	計	トン	2,144,776	100.7	4.2	2,129,170	129.7	4.2
	移 出	トン	1,274,983	117.4	6.1	1,086,148	141.3	5.1
	移 入	トン	869,793	83.4	2.9	1,043,022	119.4	3.5
コンテナ個数	計	TEU	246,023	111.7	7.2	220,201	150.1	6.9
	移 出	TEU	122,135	102.8	3.6	118,857	145.4	3.7
	移 入	TEU	123,888	122.2	3.6	101,344	156.1	3.2

(注) コンテナ個数は、実入・空の合計。

貿易額

		単位	19 年 前年比 構成比			18 年 前年比 構成比		
合 計		百万円	12,776,935	109.5	100.0	11,666,790	111.1	100.0
輸 出		百万円	8,693,500	111.5	68.0	7,797,950	109.0	66.8
輸 入		百万円	4,083,435	105.5	32.0	3,868,840	115.6	33.2

(注) 横浜税関資料による(確定値)

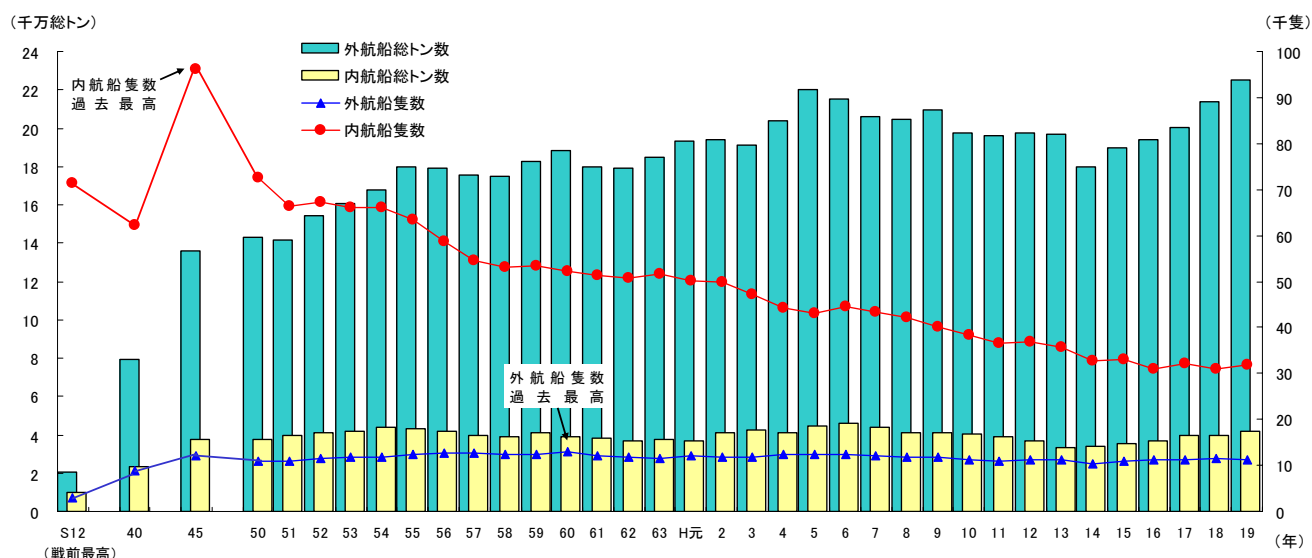
平成 19 年の横浜港の総貨物取扱量は、自動車関連や産業機械など輸出貨物の堅調な伸びにより、6年連続の増加、3年連続で過去最高を更新しました。

また、入港船舶の総トン数、外貿・内貿コンテナ貨物量及びコンテナ取扱個数はそれぞれ過去最高を更新し、コンテナ取扱個数では外貿・内貿合計で約 343 万 TEU を達成しました。

1 入港船舶 【P 9】

入港隻数は外航・内航合計で 4 万 3157 隻（前年比 1.3%増、以下増減%は前年比）となりました。総トン数は 2 億 6710 万総トン（5.3%増）となり、5年連続の増加、14年ぶりに過去最高を更新しました。

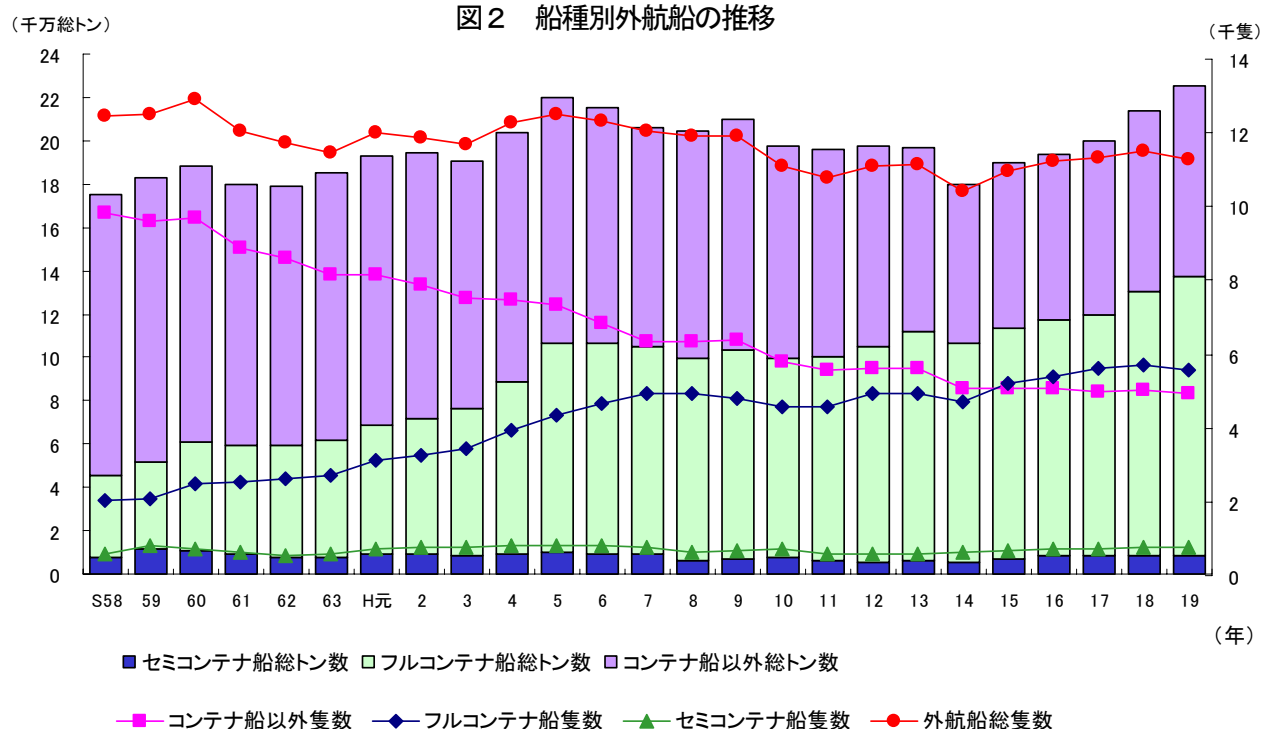
図 1 入港船舶の推移



外航船の入港隻数は 1 万 1264 隻（2.1%減）、総トン数は 2 億 2535 万総トン（5.3%増）となりました。このうちフルコンテナ船は 5574 隻（2.3%減）、総トン数は 1 億 2888 万総トン（5.6%増）となり、5年連続で過去最高を更新しました。

内航船の入港隻数は 3 万 1893 隻（2.5%増）で、総トン数は 4175 万総トン（5.7%増）となりました。

図 2 船種別外航船の推移

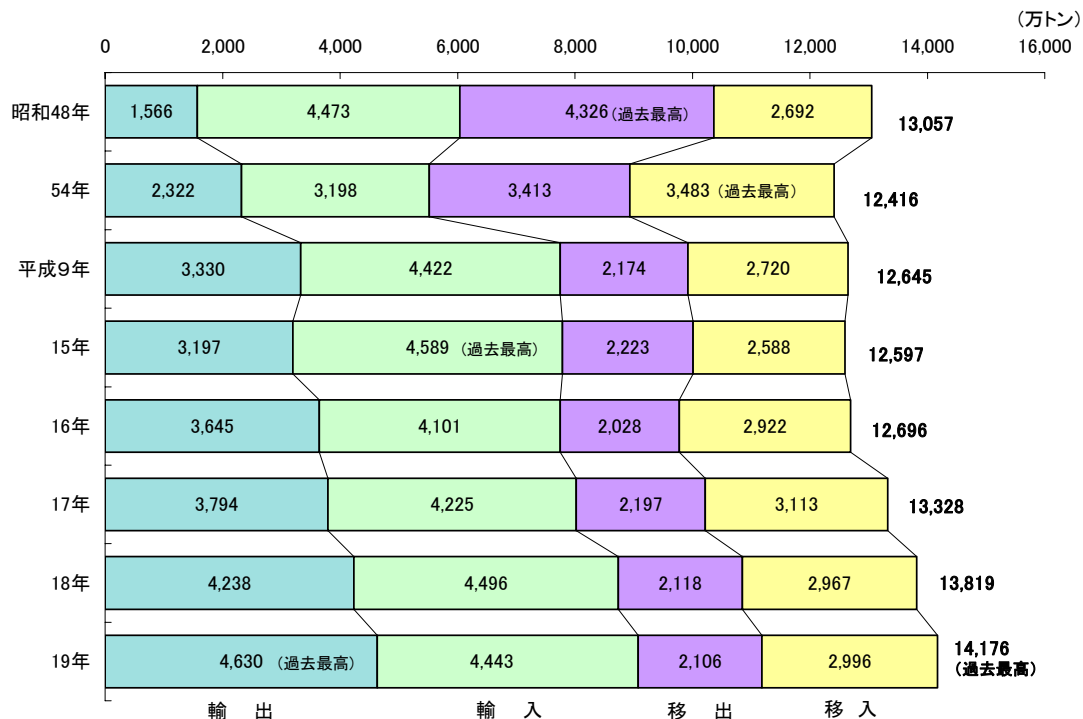


2 海上出入貨物

(1) 総貨物量 … 6年連続の増加、過去最高を3年連続で更新 【P14、15】

外貿貨物量は9074万トン(3.9%増)、内貿貨物量は5102万トン(0.3%増)、総貨物量は1億4176万トン(2.6%増)となり、6年連続で増加し、3年連続で過去最高を更新しました。

図3 海上出入貨物の推移



(2) 輸出貨物 … 前年比9.3%増、過去最高を4年連続で更新 【P14～16】

輸出貨物量第1位の「完成自動車」(1564万トン、9.0%増、構成比33.8%)、第2位の「自動車部品」(591万トン、9.2%増、構成比12.8%)、第3位の「産業機械」(533万トン、5.1%増、構成比11.5%)などが堅調に推移し、輸出貨物量合計では4630万トン(9.3%増)となり、6年連続で増加、4年連続で過去最高を更新しました。国別にみると、第1位の中国(1016万トン、5.8%増、構成比21.9%)と、第2位のアメリカ合衆国(481万トン、7.2%減、構成比10.4%)の上位2か国で輸出貨物量の約3割を占めています。

図4 主要品種別輸出貨物

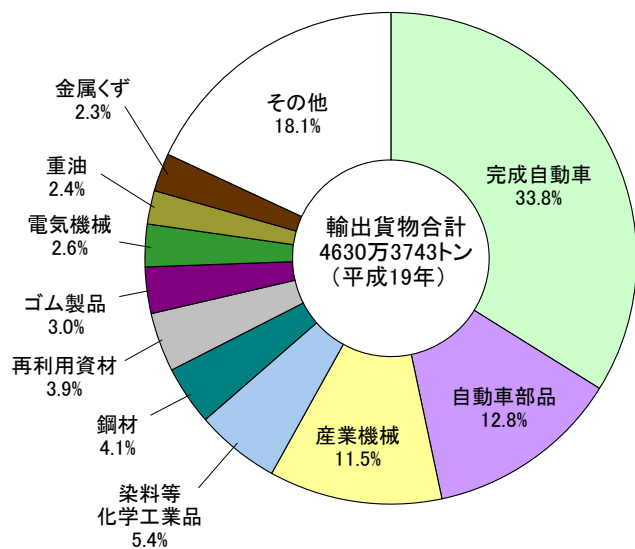
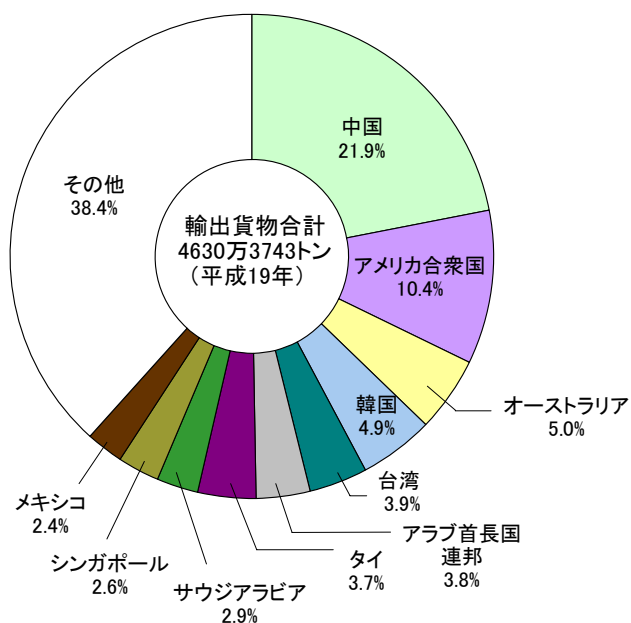


図5 主要国別輸出貨物



(3) 輸入貨物 … 前年比1.2%減、過去4番目の貨物量 【P14～16】

輸入貨物量を品種別にみると、第1位が「LNG（液化天然ガス）」で633万トン（4.0%減、構成比14.2%）、第2位が「原油」で546万トン（22.2%減、構成比12.3%）となり、輸入貨物量合計では4443万トン（1.2%減）と、過去4番目の貨物量となりました。

次に国別にみると、第1位が中国で941万トン（3.2%増、構成比21.2%）、第2位がアメリカ合衆国で677万トン（6.3%増、構成比15.2%）、第3位がサウジアラビアで430万トン（22.5%減、構成比9.7%）となっています。

図6 主要品種別輸入貨物

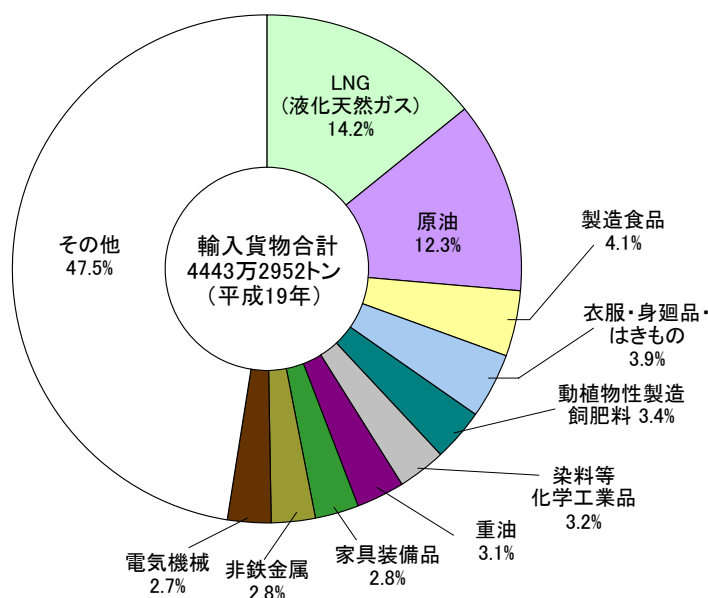
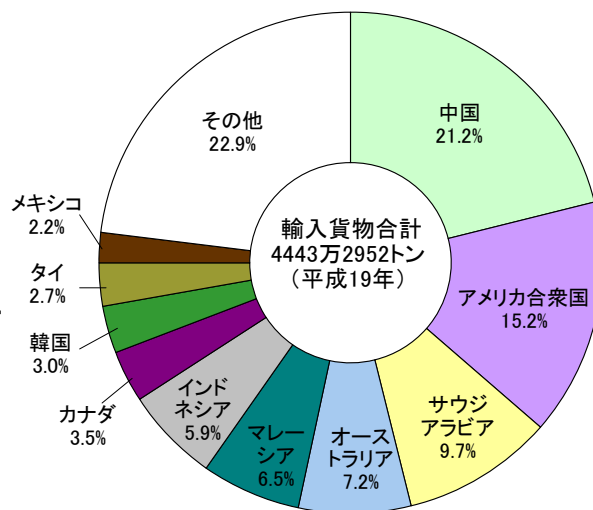


図7 主要国別輸入貨物



(4) 内貿貨物 【P14、15、18】

移出入貨物量を品種別にみると、移出の第1位は「石油製品」で431万トン（1.7%増、構成比20.5%）、第2位は「重油」で403万トン（7.8%減、構成比19.1%）となりました。移入の第1位は「原油」で1057万トン（2.1%減、構成比35.3%）、第2位は「砂利・砂」で374万トン（1.7%減、構成比12.5%）となりました。移出・移入合計では5102万トンとなり、前年比で0.3%増となりました。

図8 主要品種別移出貨物

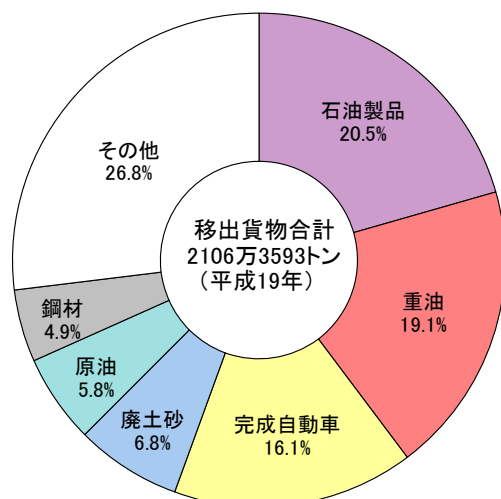


図9 主要港別移出貨物

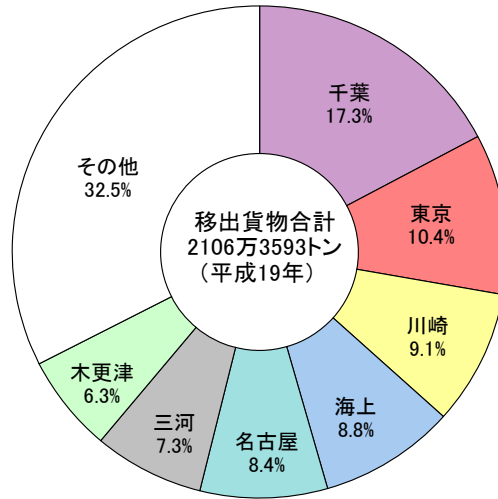


図10 主要品種別移入貨物

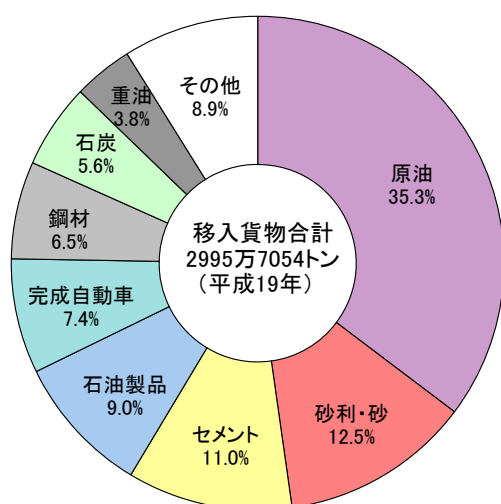
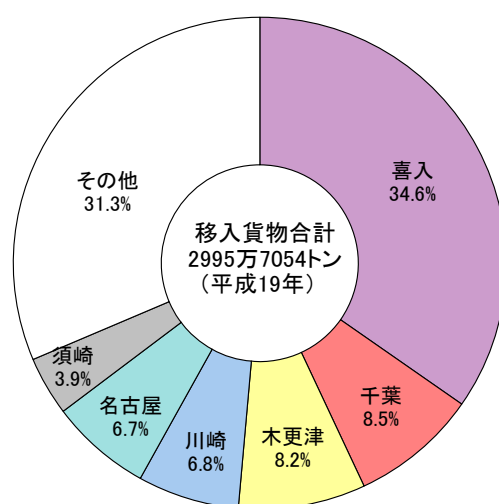


図11 主要港別移入貨物



(5) コンテナ貨物 … 外貿コンテナ貨物 4年連続で過去最高を更新 【P14、15、26】

外貿コンテナ貨物量

は、輸出が 2578 万トン

(10.4%増)、輸入が

2514 万トン (4.7%増)、

輸出入合計では 5092 万

トン (7.5%増) と、4

年連続で過去最高を更新

しました。外貿貨物全

体に占めるコンテナ貨

物の割合は、56.1%と

なり、4年連続で5割を超

えています。

図12 外貿貨物量の推移

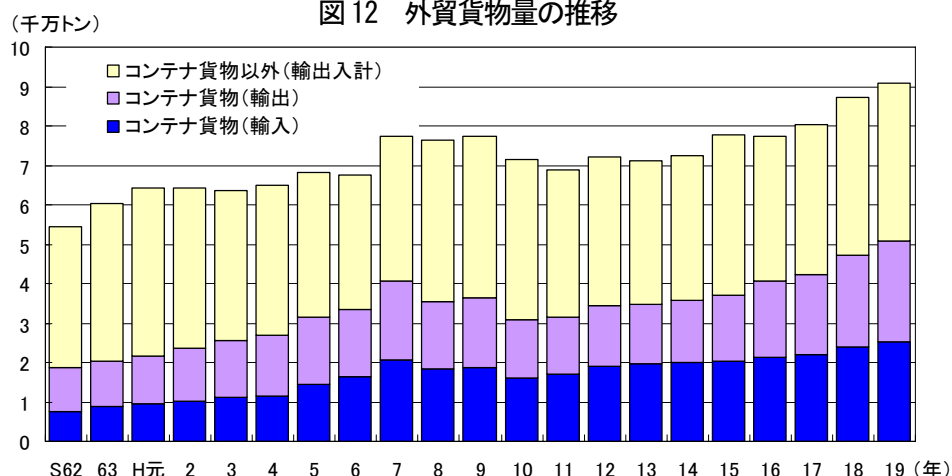
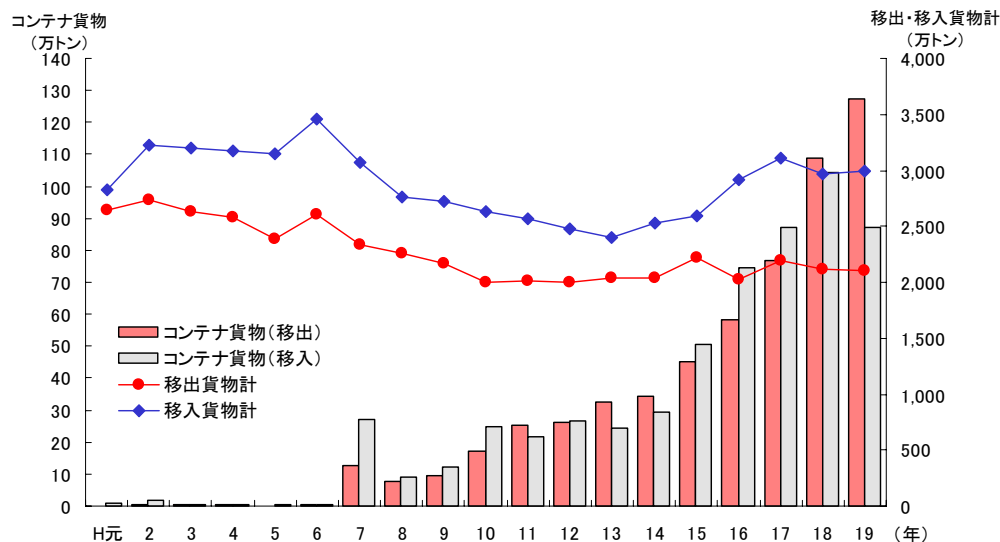
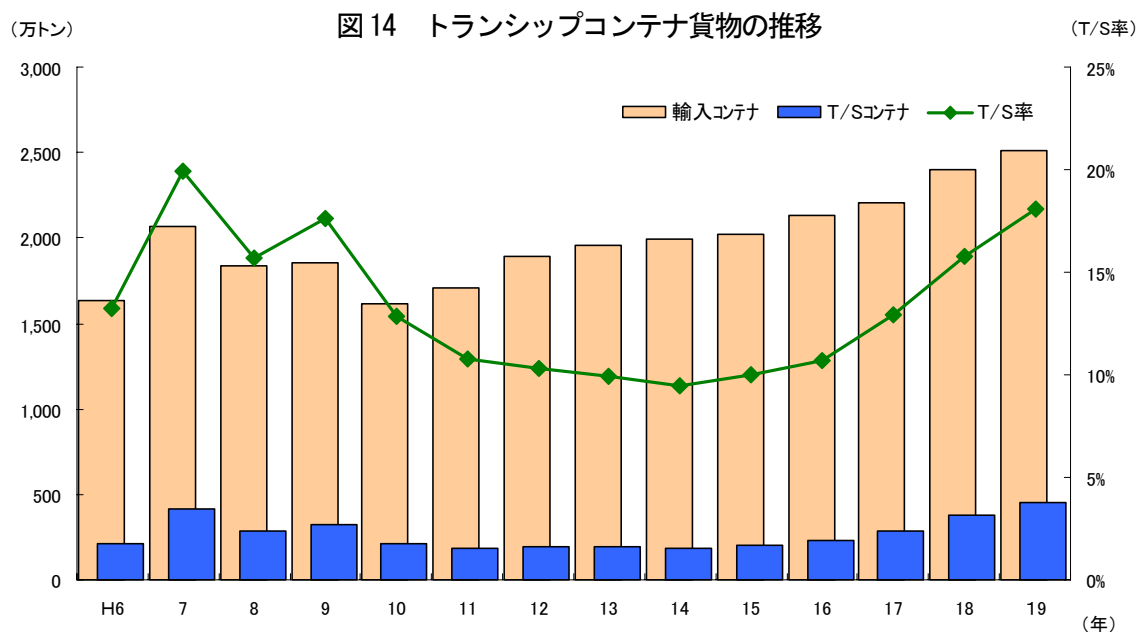


図13 内貿貨物量の推移



内貿コンテナ貨物量は、移出が 127 万トン (17.4%増)、移入が 87 万トン (16.6%減)、移出・移入合計で 214 万トン (0.7%増) となっています。

輸入コンテナ貨物のうち、横浜港にて積み替えたトランシップコンテナ貨物量は455万トンで、トランシップ率は18.1%となりました。



(6) コンテナ個数 … 6年連続の増加、過去最高を3年連続で更新

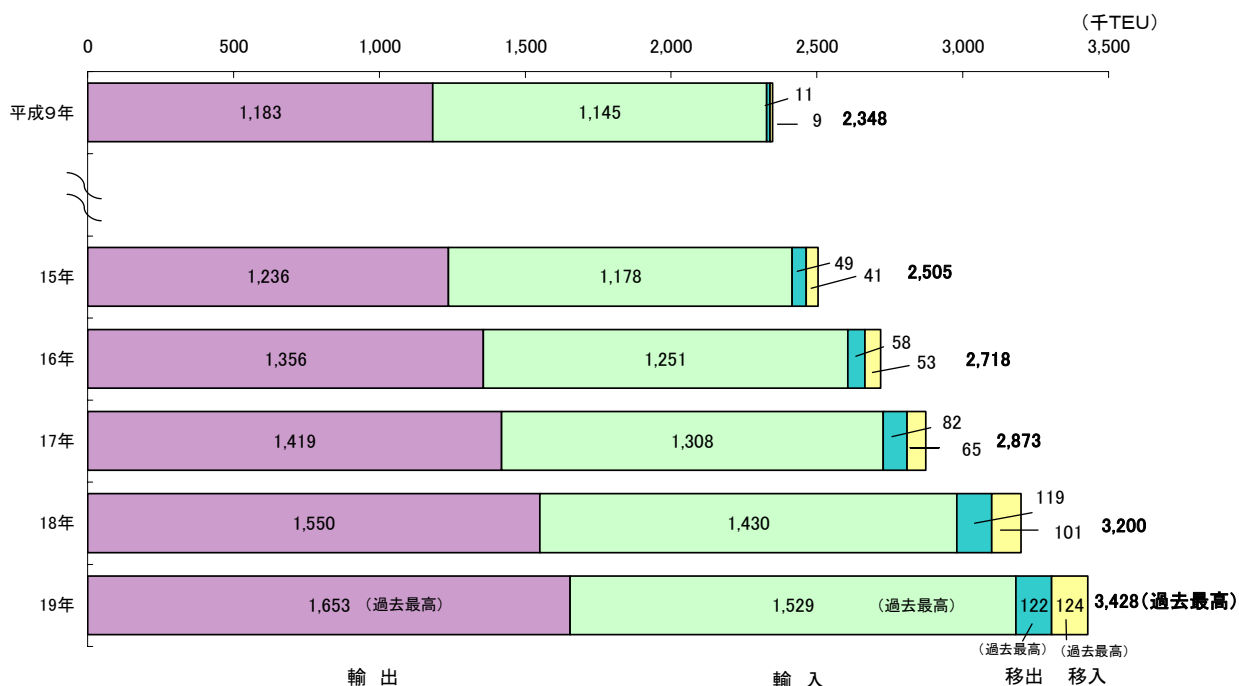
伸び率は主要港中2年連続して第1位 【P20、21、48】

外貿コンテナ個数は、輸出が165万TEU(6.7%増)、輸入は153万TEU(6.9%増)、輸出入合計で318万TEU(6.8%増)と初の300万TEU突破となりました。

内貿コンテナ個数は、移出が12万TEU(2.8%増)、移入が12万TEU(22.2%増)、移出・移入合計で25万TEU(11.7%増)となりました。

外貿・内貿コンテナ個数は343万TEU(7.1%増)となり、6年連続の増加、3年連続で過去最高を更新しました。

図15 コンテナ個数の推移



横浜港のコンテナ取扱個数（343 万 TEU）は、東京港（412 万 TEU）に次いで8年連続で第2位となっています。横浜港のコンテナ取扱個数を前年と比較すると7.1%増となっており、伸び率は主要港中2年連続して第1位となっています。

図 16 主要港別コンテナ個数

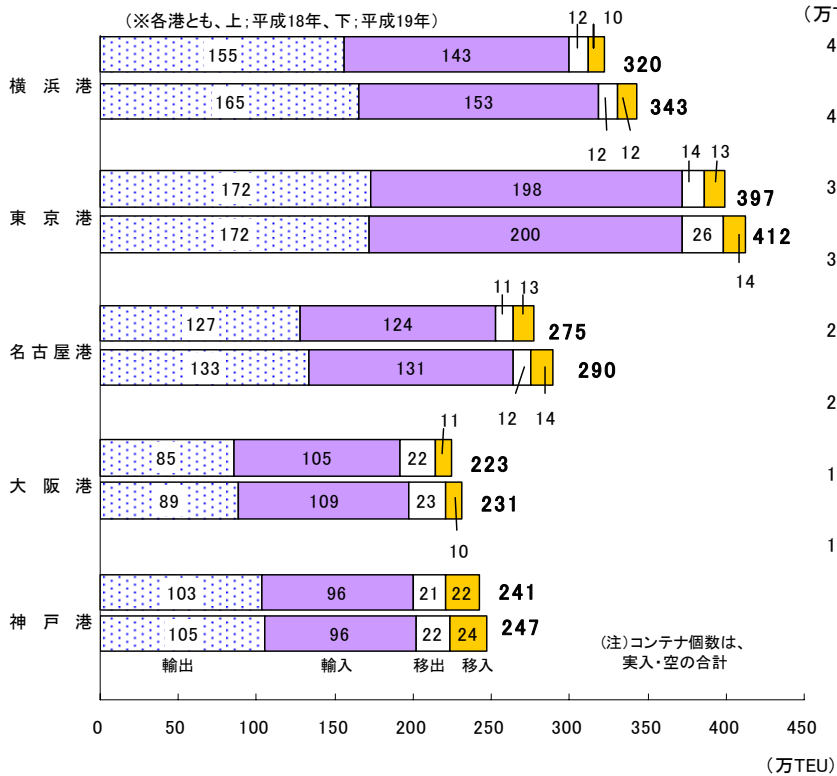
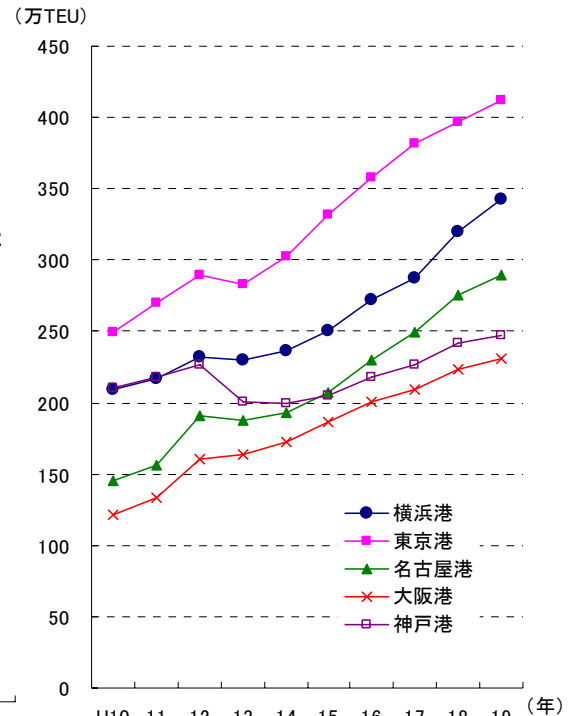


図 17 主要港別コンテナ個数の推移



3 施設別取扱貨物量 【P28～30】

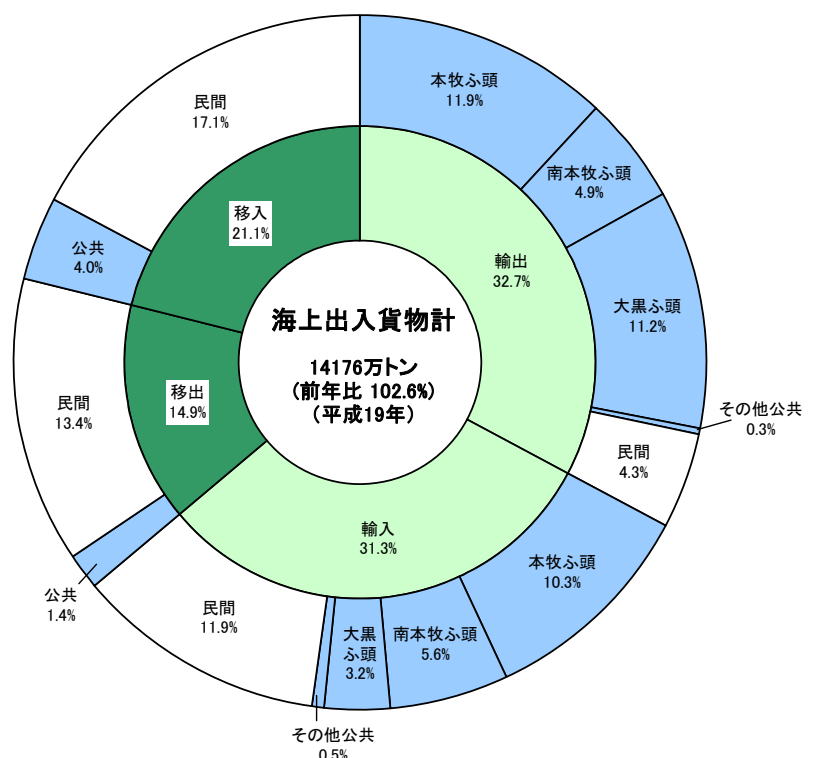
海上出入貨物量に占める公共施設（横浜港埠頭公社を含む。以下同じ。）の取扱貨物量は、7564 万トン（6.5%増、構成比 53.4%）で、民間施設は 6612 万トン（1.6%減、構成比 46.6%）となっています。

これを、外貿・内貿別に比較すると、外貿貨物の公共施設での取扱量は、6789 万トン（構成比 74.8%）で全体の7割強を占めています。

一方、内貿貨物の民間施設での取扱量は、4327 万トン（構成比 84.8%）で全体の8割強を占めています。

また、外貿コンテナ貨物の公共施設での取扱量は 5092 万トンとなっており、外貿コンテナ貨物のほぼ 100%が公共施設で取り扱われています。

図 18 施設別取扱貨物



※公共（本牧、南本牧、大黒、その他）は、横浜港埠頭公社管理分を含む。